

## 平成 29 年度 福祉用具・介護ロボット実用化支援事業の実施状況等について

### 背景

急激な高齢化の進展にともない、要介護高齢者の増加、介護期間の長期化など、介護ニーズは益々増大する一方、核家族化の進行や、介護する家族の高齢化など、要介護高齢者を支えてきた家族をめぐる状況も変化している。

また、介護分野においては、介護従事者の腰痛発生件数が増加していることから、腰痛問題が指摘されている。

このような中、介護分野において、日本の高度な水準のロボット技術を活用し、高齢者の自立支援や介護者の負担軽減を図ることが求められている。

### 現状・課題

#### 【介護現場からの意見】

- どのような機器がある分からない
- 介護場面において実際に役立つ機器がない、役立て方がわからない
- 事故について不安がある

**ミスマッチ!!**

#### 【開発側からの意見】

- 介護現場のニーズがよく分からない
- 実証試験に協力してくれるところが見つからない
- 介護現場においては、機器を活用した介護に否定的なイメージがある
- 介護ロボットを開発したけれど、使ってもらえない

マッピング支援

介護現場のニーズに適した実用性の高い介護ロボットの開発が促進されるよう、開発の早い段階から現場のニーズの伝達や試作機器について介護現場でのモニター（実証等）を行い、もって介護ロボットの実用化を促す環境を整備する。

## 福祉用具・介護ロボット実用化支援事業の概要

### 【具体的な取り組み内容(2017年度)】

#### 1. 相談窓口の設置

介護ロボットの活用や開発等に関する相談窓口を開設します。

- 電話による相談
- ホームページによる相談



#### 3. 実証の場の整備

モニター（実証）調査等に協力できる介護施設や介護事業所等をリストアップし、機器開発の段階に応じて開発と現場を繋ぎます。

- ホームページにて募集
- 協力施設・事業所等に対する研修



#### 2. モニター調査等の実施

介護現場のニーズを踏まえた機器開発を推進するため、開発の早い段階から試作機までモニター調査等を行います。

- 介護職員等との意見交換
- 専門職によるアドバイス支援
- 介護現場におけるモニター調査



#### 4. 介護現場への普及啓発

国民の誰もが介護ロボットについて必要な知識が得られるよう普及・啓発を推進します。

- 介護ロボット普及モデル事業
- 介護ロボットメーカー連絡会議
- 導入活用事例集の作成
- 試用貸出、フォーラム等の開催 等



#### 5. 調査研究等

- 福祉用具・介護ロボットの開発普及に係る実態調査
- 介護ロボットを活用した介護技術開発モデル事業の取り纏め 等

## 1 相談窓口の設置

- HP上（テクノエイド協会）及び電話相談（専用の電話番号の導入）の窓口を設置  
専用電話番号：03-3260-5121

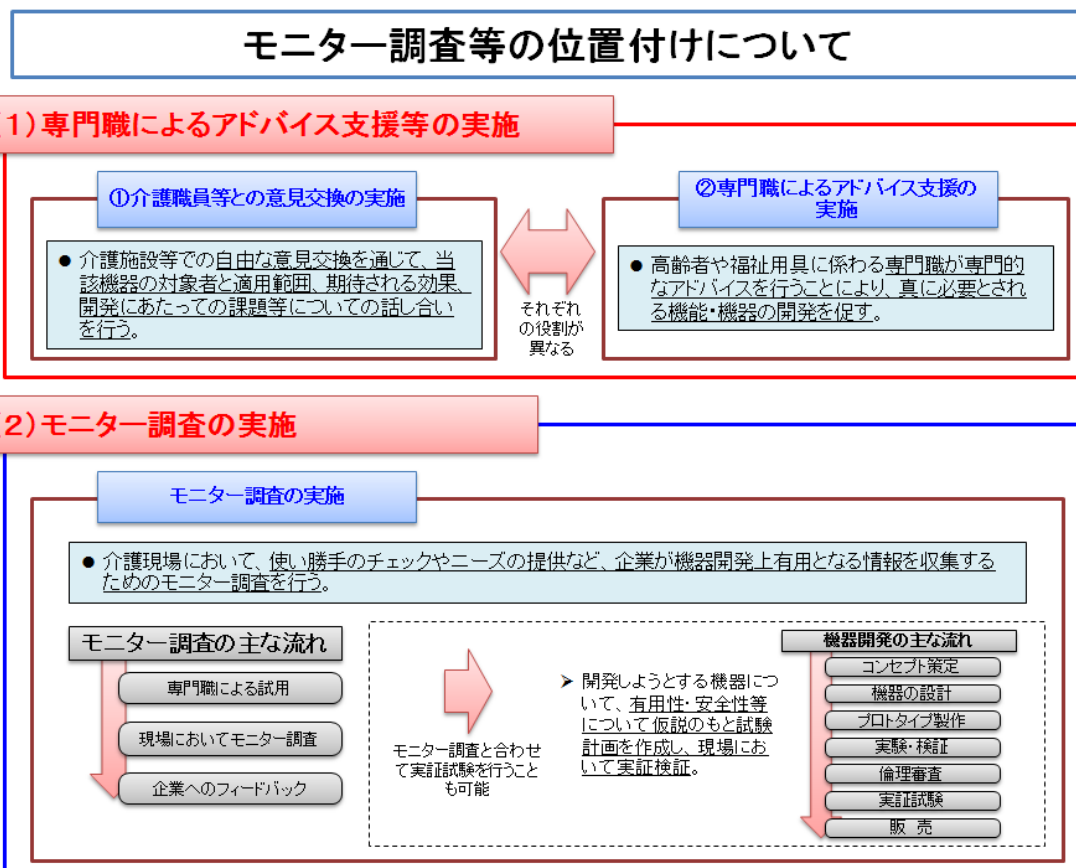
- ・開発の早い段階から、介護ロボット実用化に関する相談に対応する。
- ・必要に応じて、意見交換会の開催、モニター調査の実施等につなぐ。
- ・使用可能な介護ロボットについて、介護施設等と開発企業のマッチングを図る。

- 介護ロボット等に関する情報提供

最新機器の開発状況や利用可能な機器に関する情報提供を行うとともに、介護側のニーズやモニター情報等を蓄積し、インターネットを通じて関係者へフィードバックする。

本情報を介護側と開発側が共有することにより、真に必要とされる機能を備えた、介護ロボット等の開発普及を促進する。

## 2 モニター調査等の実施



## (1) 専門職によるアドバイス支援事業の実施

以下の2パターンに分けて段階的に行う。

### ①介護職員等との意見交換の実施・・・【募集中】

開発コンセプトの段階（実機不要）や開発途中（試作段階）にある福祉用具・介護ロボットについて、介護施設等での自由な意見交換を通じて、当該機器の対象者と適用範囲、期待される効果、開発にあたっての課題等について話し合いを行う。

- \* 実施予定：5件
- \* アドバイス謝金：5万円（1施設あたり）
- \* 企業と介護施設等のマッチングは協会が行う
- \* 協会及び状況に応じて専門家等を派遣する

### ②専門職によるアドバイス支援・・・【募集中】

開発早期の段階にある福祉用具・介護ロボットについて、高齢者や福祉用具に係わる専門職が専門的なアドバイスを行うことにより、真に必要とされる機能・機器の開発を促す。

- \* 実施予定：5件
- \* アドバイス協力費：10万円（1施設あたり）
- \* 申請案件に応じて協会がアドバイス協力機関とのマッチングを行う
- \* 主なアドバイス協力施設
  - ・ 国立障害者リハビリテーションセンター研究所
  - ・ 横浜市総合リハビリテーションセンター
  - ・ その他、専門職が適切なアドバイスを行える施設

## (2) モニター調査の実施・・・【募集終了・モニター実施中】

開発中の福祉用具・介護ロボットについて、介護現場において、使い勝手のチェックやニーズの提供など、企業が機器開発上有用となる情報を収集するためのモニター調査を行う。

なお、本調査と合わせて実証試験を行うことも可能とする。

- \* 実施予定：
  - ・ 一般公募案件：10件
  - 経産事業案件：2件
- \* モニター調査に伴う費用助成  
〔企業に対する助成〕
  - ・ 一般公募案件：1企業あたり、80万円上限に補助
  - 経産事業案件：無（費用は経産補助金により対応していただきます。）
- 〔モニター協力施設に対する助成〕
  - 1施設あたり、15万円

- モニター調査案件の選考にあたっては、協会に設置するモニター調査検討委員会の審議を経て決定する。

#### 介護ロボット等モニター調査検討委員会 委員

氏名	所属機関
市川 洵	福祉技術研究所株式会社 代表
諏訪 基	国立障害者リハビリテーションセンター研究所 顧問
古田 恒輔	神戸学院大学 総合リハビリテーション学部 教授
山内 繁	NPO法人支援技術開発機構 理事長
渡邊 慎一	社会福祉法人横浜市総合リハビリテーションセンター 地域リハビリテーション部 部長

#### ○ 具体的な実施方法

##### ① 公募方法（終了）

- ・介護機器等モニター調査 募集要項を作成し、関係者へ周知する。
- ・公募期間：平成29年6月19日（月）～7月14日（金）17時必着

##### ②メーカーと介護施設等のマッチング支援

- ・登録されたリストから当該機器に適したモニター先の斡旋を行う。
- ・適切かつ円滑なモニター調査が行えるよう、計画作成の支援を行うとともに状況に応じて専門家やセラピスト等の専門職を派遣する。

##### ③モニター評価項目について

- ・適切かつ円滑なモニター調査ができるよう、実際の利用を想定した使い勝手や有効性等についての調査項目を設定することとする。

##### ④モニター調査検討委員会の設置と役割（専門職等による事前確認）

- ・モニター調査を行うことの妥当性等について、検討委員会による事前確認を行うとともに、当該機器の開発者が介護施設等において、より効果的なモニター調査が行えるよう、専門的な視点からアドバイスを行う。

### 3 実証の場の整備

- アドバイス支援やモニター調査に協力できる介護施設等のリストアップ化の拡充（随時募集）※平成29年10月19日現在の登録件数：620ヶ所
- モニター協力施設等に対する情報提供  
開発中の福祉用具・介護ロボットの情報提供を行い、開発の状態に応じた介護施設等とのマッチングを図る。

## 4 介護現場への普及・啓発等

### (1) 介護ロボット導入事例集の作成・配布・・・【継続】

介護ロボットメーカー連絡会議に参加するメーカーを通じて介護施設等から、介護ロボットの効果的な活用事例を収集し、「介護ロボット導入事例集」を作成し、全国の介護施設等に配布する。

### (2) 介護ロボット普及モデル事業の実施・・・【継続・1 機関の追加】

第4相（上市・普及）の段階にあり、介護施設や在宅での利活用が期待される介護ロボット等について、機器の目的及び対象者、適用と禁忌、さらには適切かつ安全に使用するための基礎知識から応用技術を地域へ確実に普及させるため、「介護ロボット普及モデル事業」を実施する。

具体的には、以下の全国9か所の介護実習・普及センター等に費用を交付して実施しており、重点分野の介護ロボットを中心に、地域医療介護総合確保基金における介護ロボットの導入支援事業の活用につなぐ取り組みを行うとともに、介護施設等において適切かつ効果的な導入と利活用を推進するためのコンサルティング業務等に従事することとする。

#### 介護ロボット普及モデル事業 実施機関一覧

実施機関	郵便番号	住所	電話
北海道介護実習・普及センター	060-0002	北海道札幌市中央区北2条西7-1 北海道社会福祉総合センター3階	011-241-3979
青森県介護実習・普及センター	030-0822	青森県青森市中央3丁目20-30	017-774-3234
岩手県高齢者総合支援センター	020-0015	岩手県盛岡市本町通3-19-1	019-625-7490
なごや福祉用具プラザ	466-0051	愛知県名古屋市昭和区御器所通3-12-1	052-851-0051
兵庫県立福祉のまちづくり研究所	651-2181	兵庫県神戸市西区曙町1070	078-925-9283
福祉用具プラザ北九州	802-0077	福岡県北九州市小倉北区馬借1-7-1	093-522-8721
佐賀県在宅生活サポートセンター	840-0804	佐賀県佐賀市神野東2-6-1	0952-31-8655
茨城県福祉サービス振興会	310-0851	茨城県水戸市千波町1918 茨城県総合福祉会館5F	029-241-6939
大分県社会福祉介護研修センター	870-0161	大分県大分市明野東3-4-1	097-552-6888

### (3) 介護ロボットメーカー連絡会議の開催・・・【機能拡充】

全国各地から介護ロボットの展示や貸出を希望する声が多く寄せられているところである。実用化された介護ロボットのメーカーを一堂に集め、介護施設等において、適切に導入し、有効に活用されるよう、介護ロボットメーカーの足並みを揃える取り組みとして「介護ロボットメーカー連絡会議」を開催する。

昨年度の対象メーカーに加え、新たに、介護ロボットの開発を検討しているメーカーや団体も加える。

### (4) 介護技術開発支援モデル事業のとりまとめ・・・【継続】

平成29年度「介護ロボットを活用した介護技術開発支援モデル事業」に採択された機関の進捗管理及びその成果概要を冊子として取りまとめる。

具体的には、介護ロボットフォーラムの場を活用した報告会を開催するとともに、各実施機関におけるモデル事業の結果を取りまとめた冊子を作成し広く配付する。

実施機関

- ・ 学校法人東京家政学院(筑波学院大学)
- ・ 一般社団法人日本作業療法士協会
- ・ 社会福祉法人兵庫県社会福祉事業団
- ・ 社会福祉法人横浜市リハビリテーション事業団
- ・ コニカミノルタジャパン株式会社

### (5) 介護ロボット等に関する情報提供・・・【機能拡充・継続】

実用化され使用可能となった介護ロボット等について、インターネットを活用して情報提供を行う。介護ロボット等試用貸出事業の協力メーカーに加え、新たに農業ロボット関係などロボット技術を有し、介護ロボットの実用化を検討しているメーカー等にも声掛けし、情報を収集する。

また、1月には「介護ロボットフォーラム2017」を開催し、介護施設や居宅介護サービス事業者等の関係者へ、介護ロボットに係る最新の情報提供を行うとともに、介護現場のニーズや介護分野での応用が可能な技術シーズを的確に捉えた、新たな介護ロボットの開発を喚起する取り組み等を行う。

「介護ロボットフォーラム2017（仮称）」の企画

○ 対象：

- ・ 高齢者施設・居宅介護サービス事業者
- ・ 障害者施設・在宅サービス事業者
- ・ 医療療養又は介護療養の病床を有する病院・診療所
- ・ サービス付き高齢者向け住宅事業者
- ・ 地域包括センター及び介護実習・普及センター

施設長（管理者）又は  
従事する職員等

- ・都道府県又は市町村 ご担当者
- ・報道機関 等
- 開催：平成30年1月23日（火）TOC有明を予定
- 同時開催

本展示説明会では、介護技術支援モデル事業の成果報告も併催することとする。

## 5 福祉用具・介護ロボットの開発普及に係る調査研究等

高齢者の自立及び介護職員等の軽減に資する介護ロボット等の開発・普及の促進に資するため、以下の介護ロボット等の実用化・導入実態等の調査を行う。

### (1) 介護ロボット等導入支援特別事業の実態調査・・・【新規】

平成27年度補正予算にて実施された「介護ロボット等導入支援特別事業」の平成28年度実施報告をもとに、全国での機種別、地域別、介護サービス別等の導入実績を把握する。

### (2) 介護ロボット導入支援事業の実態調査・・・【継続】

昨年度に引き続き、地域介護総合確保基金において全国各地で実施されている「介護ロボットの導入支援事業」について、各都道府県における実施の実態調査等を調査する。

以上